

高齢婦人の冬物衣料に関する一考察

高 間 由美子

1. はじめに

前稿では高齢者の生活実態に即した衣料の充足を目的として夏物衣料に関する調査を通して消費者の立場から、あるいは着用者の立場から衣生活の動向を探ってみた。その結果これからの高齢者衣料は、1) 年齢階層による意識の違いに対応したデザインの選定、2) 加齢にともなう体型変化へのきめ細かい対応、3) 今後予想される身体的障害をもつ高齢者の増加への対応、4) 高齢者衣料の呼称の検討などを行った上で、年齢階層別に生産、表示、販売されることが望まれるなどの改善点を指摘した。

本稿では、これらを踏まえた上で冬物衣料に関する調査を通して更に高齢者の衣生活に満足感を与える要因を考察する。特に近年は高機能衣料の普及や住環境における冷暖房設備の普及により衣料の季節感がなくなり従来に比べて薄着の方向に進んでいる。

そこで高齢者の高機能衣料への対応の仕方や着方の工夫を若年者のそれと比較検討することで高齢者の冬物衣料の充足につながる結果を得たいと考え、以下の調査研究を行った。

2. 調査の概要

調査の目的及び方法

冬物衣料を通して高齢者の要望、好み、既製服への対応、保温性衣料の効果などを把握することにより高齢者衣料の充足を計る。また20歳前後の女子学生が高齢者の衣生活をど

のように受けとめているのか、あるいは保温性衣料の着用や対応の仕方など異世代の見方、考え方を通して望ましい高齢者衣料のあり方を探る。

調査はアンケート法によって行った。アンケートの配布数はアンケート【A】167、アンケート【B】231、有効回答数もそれぞれ167、231であった。

アンケート【A】

調査対象 無作為抽出法により愛知県、岐阜県内に居住する50歳以上の女性167名を抽出

実施期間 1998年1月下旬から2月下旬

アンケート【B】

調査対象 東海女子大学、東海女子短期大学の学生231名（年齢18歳～22歳）

実施期間 1998年1月下旬

3. 結果及び考察

I アンケート【A】について

(1) おしゃれやファッションの関心度

ファッションへの関心の有無については63.9%があるとの回答をしているが、自分はおしゃれかとの設問に「はい」と答えたのは11.6%にすぎず64.7%の人がまあまあという曖昧な回答をしている。(図2-2)

つまりファッションに関心はあるが自分のおしゃれは、ほどほどというところだろうか。前稿の結果とほぼ変わりなく図1-1に示す

図1-1 【ファッションに関心】

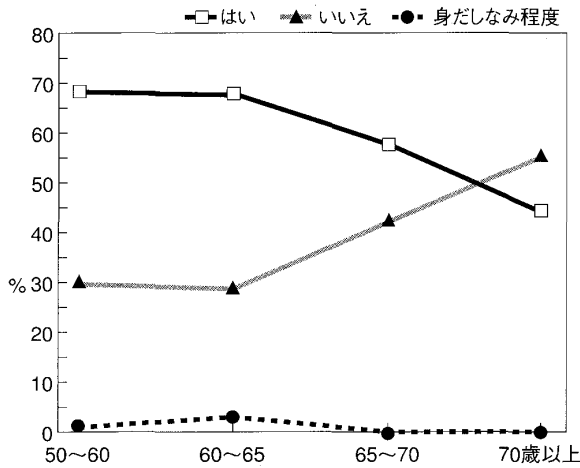


図1-2

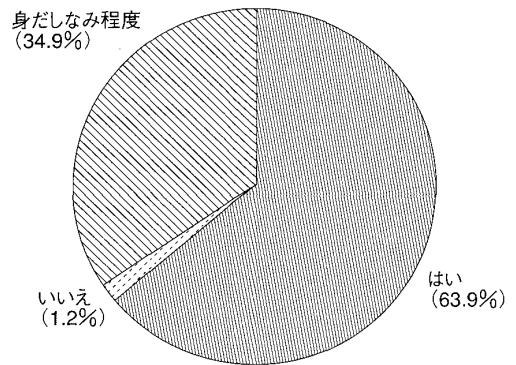


図2-1 【自分はおしゃれ】

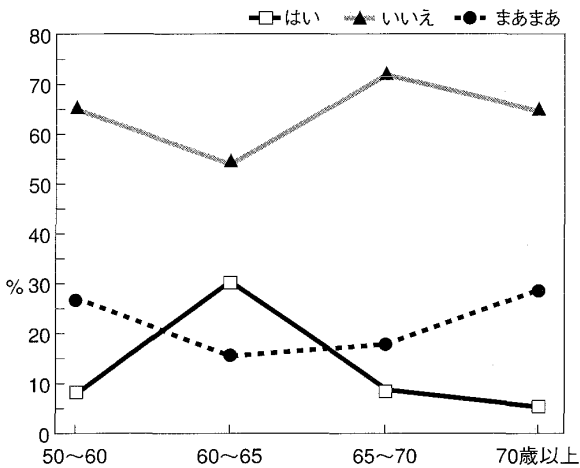
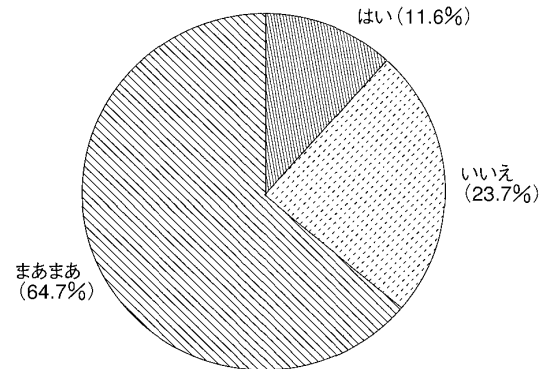


図2-2



ように加齢変化にともないおしゃれやファッションに対する関心が次第に減少していく様子がわかる。これは夏物、冬物の季節にかかわらず年齢によってはっきり表れている。また、おしゃれやファッションへの関心は70歳を境目に減少の傾向がみられるが今後も平均寿命が延びていくことを考えればその境目の年齢はますます高くなっていくと予測される。たとえ身だしなみ程度と言えどもおしゃれをしたい時に年齢に対応した衣服が不足しているという悲しい結果にならねばよいがと危惧の念を抱かずにはおられない。

(2) 入手方法

冬物衣料でも入手方法は圧倒的に既製服で全体の76.5%を占めている。(図3) また手作りの14.1%も見逃せない。これは前

報での夏服8.7%に比べても多く、既製服に満足できないだけで冬服の手作りが増加したとも思えない。縫製技術は夏服よりも冬服の方が高度であることから、ただ単に高齢者の手作り志向だけで片づけることはできない。その他の5.2%の入手方法として考えられることは頂き物、つまり譲渡ではないかと推測される。近年衣服を損傷するまで着用することは減多になってきている。着用しない理由としては、流行遅れ、体型の変化、損傷、手持ちの服が同じようなデザインばかりで着用しないなどが考えられる。それらの衣服を友人、仲間、近所の人に譲渡する、あるいは入手した衣服をリサイクル活用やリフォームによって再利用する方法などが考えられる。

次に購入の様子を分析してみる。(図4) 見立ててもらおう人についての設問ではひとり

が36.3%、店の人が27.4%、娘が15.9%、友人が11.9%、そのあとに主人、嫁の順に続く。衣服購入時はひとりがもっとも多い。ちょっと相談できる人がいれば心強いし、買い物も楽しくなると思われるが寂しい結果である。

また、ほとんどの人は、購入する服のメーカーを決めていない。しかも、デパートで購入する機会が多いことから、ひとりでデパートへ出掛け、試着をし、自分もしくは店員に見立ててもらい、まあまあ気に入った洋服を入手するというイメージができあがる。おしゃれに興味を持つことは回りの人から誉めってもらうことから始まると考える。よく似合うわね。若々しいわよ。この洋服素敵ね。と言葉が交わされることがきっかけとなって顔や姿に喜びの表情が表れる。誰もがおしゃれに興味を持っていないはずはなく、ファッショ

ンに関するコミュニケーションがもたれることが望まれる。

(3) 色の好みについて

図5から好まれる色の上位は黒、茶、グレーの順である。いわゆる地味な色と呼ばれている色である。もちろん組み合わせ次第とは言うもののずいぶん暗い選択である。夏物衣料では季節柄、白色がトップを占めていることから考えれば冬物衣料は黒ということになるようだ。いずれの季節も無彩色が上位を占めている。

若年者からは①もっと明るい色の洋服を着て欲しい。②年相応だからと言って地味な服はやめて欲しい。③暗い色の服装は夜道には危険である。との指摘が多くあった。やはり明るい色は暖かい雰囲気があり着用者自身をも明るいイメージにする。高齢者が年齢や季節から色を選択することなく、その日の気分や目的、あるいは若々しく装うことへの喜びなど自分の気持ちを装いに反映できるような環境づくりを望みたい。

また、青色は夏物に好まれたが、冬物には赤色が好まれ季節の特色が表れている。しかし黄、緑、ピンク、グレーには季節による差違はみられなかった。高齢者に好まれる色のひとつに紫色を予測していたが、意外と好まれていないようである。流行色でないのかもしれないが顔写りのむずかしい色とも考えられる。

【入手方法】

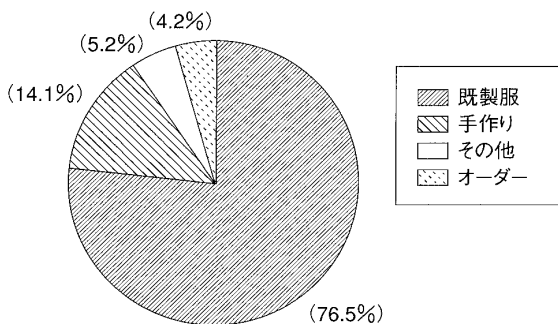


図3

【見立てる人】

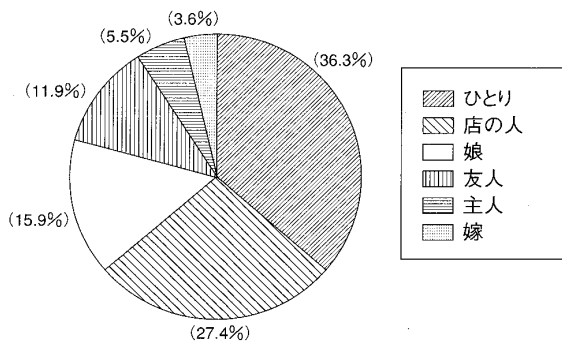


図4

(4) 服を選ぶときのポイント

服を選ぶポイントでは、加齢変化の影響が少ない項目として流行の服や高価な服、反対に加齢変化がうかがえる項目としては体型をカバーする服、暖かい服、好みのデザインの服があげられる。その中で体型をカバーする服をあげた人が60~65歳に多い。(図7) お腹回り、ウエストの太さ、垂れ尻、首回り、腕の太さ、腕のしわなど各部位が目立ち始め気になる年齢でもある。つまり、隠したいという意識がもっとも強い年齢であると言える。

図5 【自分の好きな色】

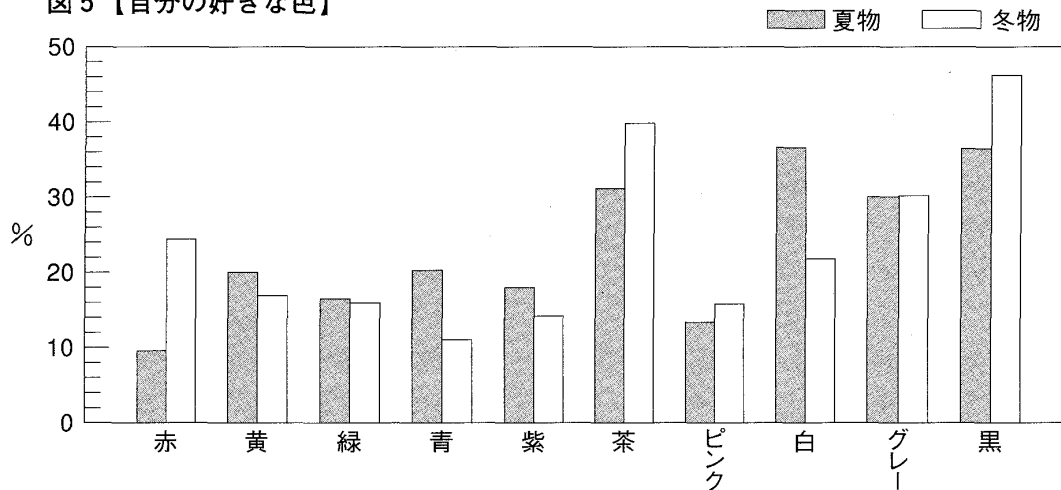


図6 【自分の好きな色】

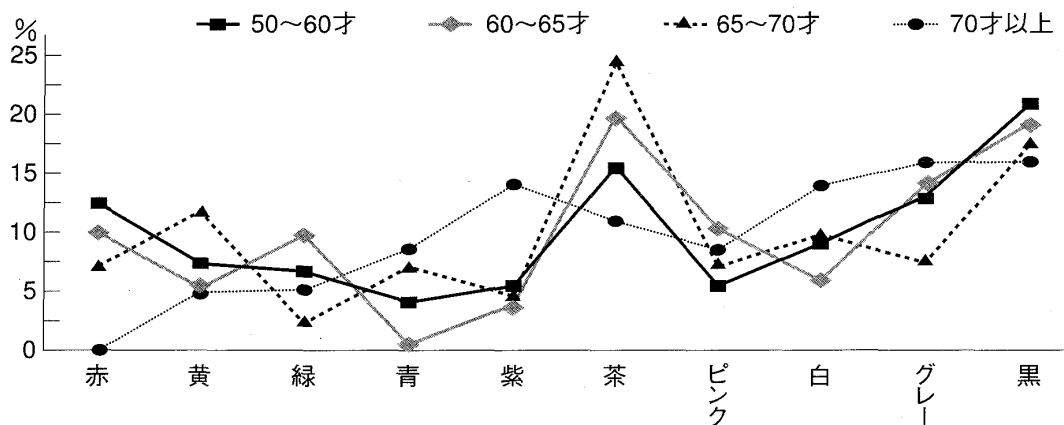


図7 【服を選ぶ時のポイント】

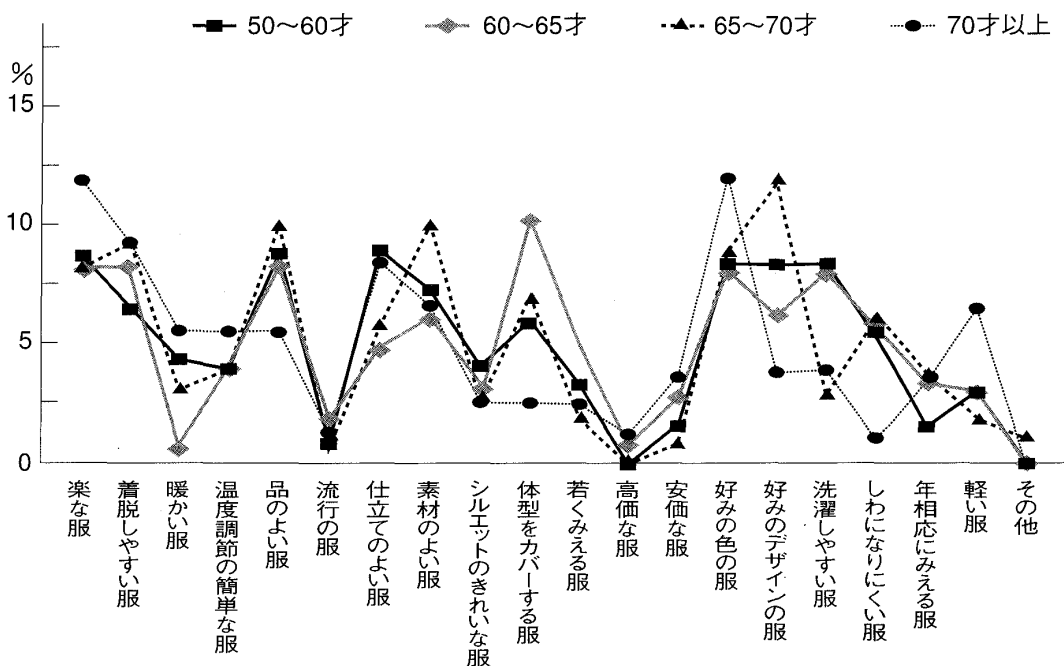
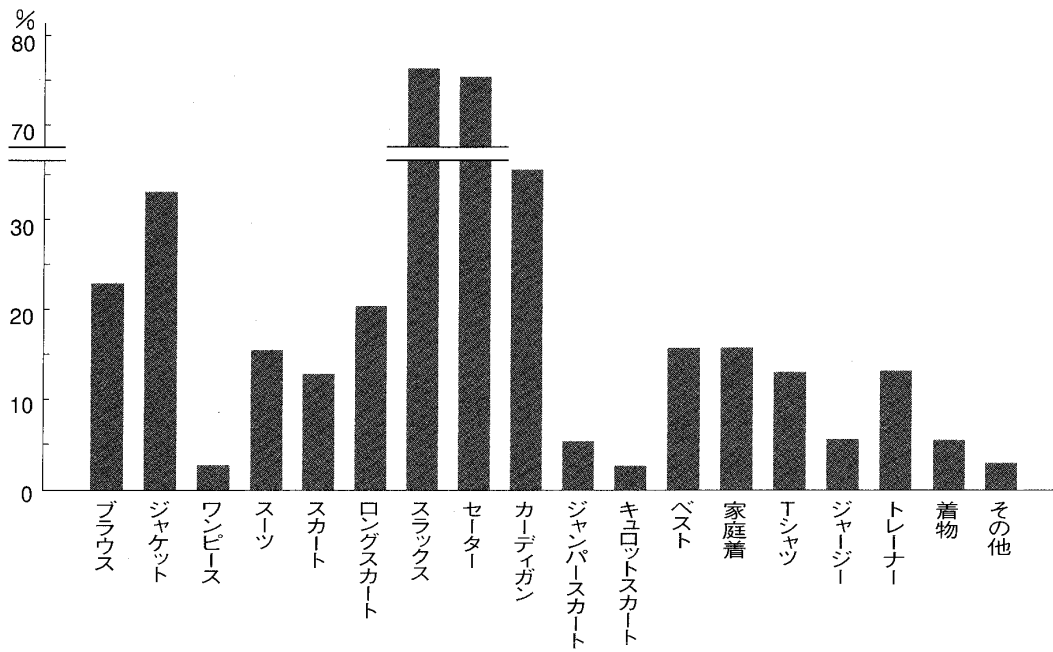


図8 【冬にどんな服を着るか】



また好みのデザインの服をあげた人は65~70歳が一番多いが、このことは図7から加齢と共に体型の変化をうけ入れた上で、よい素材を使った好みのデザインを選び、品よく装いたいという高齢者の意向をよみとることができる。

その他では楽な服、着脱しやすい服、仕立ての良い服、好みの色の服などが上位を占めている。加齢とともに考慮されなければならない項目である。また着脱しやすい服では、前明きがもっとも着脱しやすく、かぶり、肩明き、後ろファスナー、脇明きなどは身体機能の低下を考えれば着脱しにくくなる。特に冬物衣料の場合着脱しやすい服が温度調節しやすい服ともいえる。寒い時にパツとはおれ、暖かい室内ではさっと脱げる便利さも選択のポイントとして重要である。

次いで軽くて暖かい服、しわになりにくい服、洗濯の容易な服があげられる。これらは欠くことのできない要件であるが特に軽くて暖かいことは高齢者向きの衣料の具備すべき重要な要件であろう。

(5) 服種について

冬にどんな服を着るのかとの設問の回答を

トップとボトムに分けて考察してみる。(図8)

トップで一番多い服はセーターで74.9%を占めている。次にカーディガン36.5%、ジャケット32.3%が多く、次いでブラウス22.2%、ベストの順である。セーターの素材は不明であるが温かさと着やすさ手軽さなどを兼ね備えた衣料として着用度は高い。

カーディガン、ジャケット、ベストなどは、はおる感覚で着脱が楽なこと、温度調節がしやすいことなどがよく用いられる理由であろうがジャケットは70歳以上の高齢者の着用頻度は低い。

ボトムではスラックスの76.0%がもっとも高く、次にロングスカート19.2%、スカート12.6%、キュロットスカート3.0%の順になる。スラックスの種類にはおしゃれ着のパンツ、ぴったりしたスパッツ、Gパンなどがありウエスト処理はベルト、総ゴム、またはベルトとゴムの併用がある。素材は毛、ポリエステル、混紡、組織も織物、編物(ニット)など豊富に揃っている。冬物衣料としてスラックスが活動的でしかも暖かいことから着用頻度が他のものに比べて非常に高いことは当然ともいえる。

ロングスカートは、若い年齢層ほど着用者が多く70歳以上の高齢者にはスカートの方が好まれている。ロングスカートも室内用と屋外用では多分に用途が異なる。今冬は屋外でのロングスカートが流行し、若い世代から中年、高年までにはいる姿を良くみかけた。寒い冬には足首あたりまであるロングスカートは魅力的であると思われる。しかし高齢者には温かさは魅力的であっても足さばきが悪く外出には不向きかと思われる。着用者の少ないことは躓く、転ぶ、動きづらい、足元が見にくいなど高齢者にとっては危険な面が多いことを示すものであろう。

一方、着物、キュロットスカート、ジャージの上下は皆無に等しい。特に着物の減少には驚く。年齢からみれば着物の愛用者はもっと多いと予想しており、その上冬という季節を考えれば着用者が多くて当たり前と考えていたにもかかわらず予想外であった。それに代わる衣服がロングスカートやスラックスであり、冬物衣料の快適さが着物からこれらに移行した結果と言えそうである。

4. 保温性衣料について

(1) 保温性衣料の着用

保温性衣料の着用についての設問では保温性衣料を着用したことが「ある」と答えた人が34.1%、「ない」と答えた人が53.9%あった。(図9-1) そのうち「ある」との回答者に更に着心地を尋ねたところ、とても暖かい51.8%、暖かい気がする46.4%、また保温性衣料を着用した場合の着用枚数は減った39.6%、増えた18.9%、変化なし41.5%であった。(図9-2・図9-3)

また保温性衣料の不満点として①高価である。②少しかさばる気がする。③毛玉になりやすい。④肌触りはよいが、かゆくなる。⑤静電気が気になる。⑥暖かくない。⑦ラベルの表示通りでない気がする。などの回答が多くあった。以上に記したように高齢者から保

図9-1 【保温性衣料の着用】

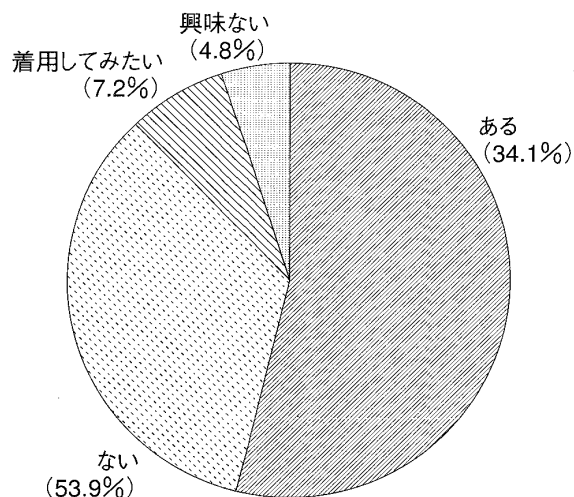


図9-2 【着心地】

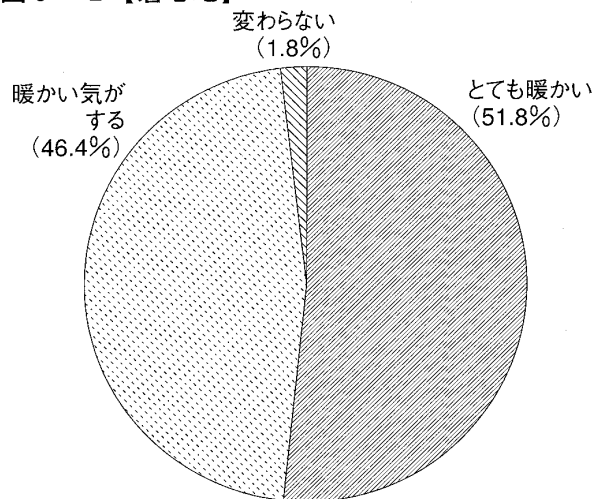
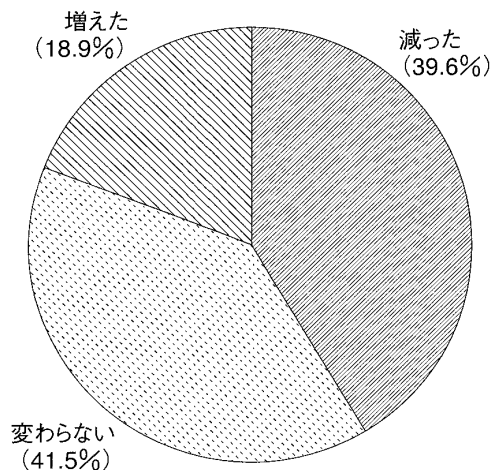


図9-3 【着用枚数】



温性衣料の着用は快適であるという回答は少なく、総合的に評価は低い結果といえる。

他方、女子学生では①薄くて暖かい。②着ない日はすごく寒い。③とにかく暖かい。④無駄な重ね着はしなくておしゃれができる。⑤一枚着ているのといないのではかなり違う。⑥手放せない。⑦靴下を利用しているがかかとのかさかさが治った。⑧寝る時に靴下をはくとポカポカしてすぐ寝つける。⑨冷え症なので喜んでい。と圧倒的に評価は高い。ただ一部の学生の中には値段が高い、肌がかぶれてやめたとの回答もあった。

両者の回答から女子学生は保温性衣料の暖かさを肌で感じとっているのに対して高齢者は暖かい気がするとの回答が約半数占めていることから肌で感じ取った暖かさではないことがわかる。さらに高齢者は着用枚数からみても減少39.6%に対して変化なしの41.5%、あるいは逆に増えた人18.9%を占めていることから決して暖かさを肌で感じ取っていないことが推測できる。

保温性衣料の暖かさを肌で感じ取るのではなく保温性衣料の名称に暖かいと思込んでいる人が多く、本当の意味で暖かくしかも着用枚数も減少したという回答者はごくわずかであるということである。したがって保温性の暖かさを肌で感じたのは女子学生であり高齢者の受け止め方は曖昧であることがわかる。これは加齢に伴って皮膚感覚も鈍くなっていることを示すものと思われる。

保温性衣料には、遠赤外線の効果で暖かさをアップするタイプや、繊維が発熱して暖かさをコントロールするタイプなど種類も豊富に出揃っているようである。目的や用途に応じてこれらが使用できるともっと快適な肌着着用ができるはずである。

(2) ババシャツの効果

今回の女子学生の調査においてもっとも驚かされたのはババシャツの愛用者が非常に多いということである。ババシャツとは袖のついた婦人肌着で「おばさんが着ているからバ

ババシャツ」とも言われる保温性肌着のことを言う。

女子学生は冬を暖かくする工夫としてババシャツの着用を真っ先に挙げている。

- ・ババシャツはとにかく暖かい。
- ・ババシャツは薄手でとても暖かく着太りしない。
- ・ババシャツはおしゃれになれてうれしい。

この三点に絞られていた。なかには、本当は腹巻きも欲しいや、腹巻きはかなりのお薦めとババシャツのみならず腹巻きまであげる者もいる。1998年2月17日の新聞には冬でも薄着主流の最近のファッションを反映して若い女性を中心に隠れたヒット商品としてこれらを紹介している。肌着全体は横這いだが、この保温性肌着の売れ行きは昨シーズン(1997年)の1.5倍、売れ筋は3,000円から5,000円と生産が間に合わないくらいやりくりしに四苦八苦しているとある。若年者は寒くてもおしゃれのためならば伊達の薄着と思いきや、着太りしないでしかも暖かいババシャツの効用に大賛成と言うのが昨今の風潮のようである。

また、日本繊維製品消費科学会の資料によると、冬季の快適気温は男が20度、女はそれより2度高い。つまり男が快適と思う気温も女にはちょっと肌寒いということになる。となれば女の快適温度にするための補助用品としてババシャツは非常に効果的である。その上、腹巻きまで使用している女子学生が多いということは、若い女性の寒さへの対応もこれまでに比べてかなり変化してきていることになる。

なかには更に暖めたい時には腹巻きの中へホカロンを入れるとの記述もあった。

高齢者の肌着についての記述は以下の通りである。。

- ・着太りしないよう気をつける。
- ・薄手の肌着を重ね着する。
- ・綿の肌着を使用する。
- ・肌着は絶対綿がよい。
- ・肌着はウール混紡を使用。

前項の保温性衣料の使用者の割合や、あるいはこの記述からみても、高齢者にとって肌着は綿物との先入観が強いようである。今回の調査【A】からはババシャツという名称は一度も出なかった。また若年者と高齢者の肌着に関する意識や対応、考え方などには大きな相違がみられた。とくに若年者は肌着には消極的で、ひよっとすれば着用していないのではとの推測はまったくはずれ、女子学生に比べて高齢者の肌着への対応は消極的であった。

寒い冬に肌着の着方や選び方を工夫することで薄着にみせ、しかもおしゃれが疎外されない着こなしは若い人のおしゃれへの拘りともいうところだろうか。新素材が開発され女性が本音で暮らす時代と言えれば大袈裟かもしれないが真に暖かい着方や工夫をすることはおしゃれへの最短距離でもあるといっていだらう。高齢者の生理に合わせた肌着選びの重要性を指摘しておきたい。

5. 冬を暖かく過ごすための 着こなしや工夫

(1) アンケート【A】と【B】の相違点

冬を暖かくしかも快適に過ごすための着こなしや工夫について記述式で尋ねた結果を列挙する。

【A】について

- ・軽くて薄い物を重ね着する。
- ・外出の際には温度調節しやすいものを着用する。
- ・衣服間に空気層ができる工夫をする。
- ・手足、背、首を暖かくする。
- ・スカーフはかかせない。
- ・帽子をかぶり保温と身だしなみの両面からカバーする。
- ・綿の下着は必需品。
- ・上着は長めを着用する。
- ・カーディガンやセーターの下には綿シャツを着て風を通さないようにする。

- ・長袖ばかりの重ね着は肩こりの原因になるため半袖やベストを併用する。
- ・動きやすい程度にゆとりのあるサイズを選ぶ。

【B】について

- ・ババシャツを着る。
- ・重ね着をする。
- ・遠赤外線肌着を使用する。
- ・外出時は厚手のコートで防寒、防風に役立つ。
- ・ハイネックのセーターを着用する。
- ・マフラーで首もとを暖かくする。
- ・カーディガンは着脱しやすく重宝する。
- ・腹巻きを使用する。
- ・帽子をかぶる。
- ・タイツをはく。
- ・手袋を使用する。
- ・ズボンの下にスパッツをはく。
- ・衣服間に空気層ができるよう工夫する。
- ・セーターの下は風を通さないものを着る。
- ・暖かい色の衣服を着用する。

以上の記述から高齢者には、身体的条件の低下に対応した着こなしや工夫がみられたものの、両者の違いはあまりなく一般的な寒さに対応する着こなしや工夫にとどまった。

6. おわりに

冬物衣料に関する調査により暖かさを保つための着方や工夫について提案を試みる。

- 1) 重ね着の効果。
- 2) 衣服間に空気層ができる着方をする。
- 3) 温度調節がしやすい着方をする。
- 4) 四肢部を覆う工夫。
- 5) 外出の際には防風の衣服を選択し着用する。

以上の諸点から寒い気候に対する着方を工夫することが暖かさを保つことになり、しいては冬物衣料として快適な衣服を求める方法につながると考えられる。

最近の住生活環境の変化と衣服関連の新素

材の開発は人々の衣生活を薄着化させた。特に保温性衣料の着用は薄着に大きく貢献しているがこれへの対応は若年者に顕著であった。高齢者の中にはその特性が理解されていないのではないかと思われる例がみられたが、このことは加齢に伴う生理的な変化（体温調節機能や皮膚感覚の衰え）とも関連するものと思われる。今後は高齢者の生理を念頭においた肌着の改善や使用法に関する啓蒙も必要となろう。高齢者を取り巻く生活環境の変化と高齢者自身の加齢に伴う諸変化に対応できる衣生活の提案を今後の課題としてゆきたい。

謝 辞

本研究を遂行するに際し、ご理解、ご指導を賜りました学園長神谷みゑ子先生、元奈良女子大学教授相川佳予子先生、またアンケート調査にご協力いただきました皆様方に衷心より感謝申し上げます。

参 考 文 献

- 1) 中根芳一他：私たちの生活科学理工学社1996
- 2) 杉原利治他：生活情報とコンピュータ 大衆書房1996
- 3) 高間由美子：東海女子短期大学紀要第23号1997
- 4) 高間由美子：東海女子短期大学紀要第24号1998
- 5) 酒井豊子他：ファッションと生活 放送大学教育振興会1996

高齢婦人の冬物衣料に関するアンケート [A]

1998年2月
東海女子短期大学 高間由美子

高齢化社会を迎える21世紀に向けてのアンケートです。お手数ですが是非、ご協力のほどお願い申し上げます。
以下の質問の該当するものに○印をつけるか、又は質問にお答え下さい。(○印はいくつでも可)

【お答えいただく前に】

- ・あなたのお年 1. 50歳以上～60歳未満 2. 60歳以上～65歳未満 3. 65歳以上～70歳未満
4. 70歳以上～75歳未満 5. 75歳以上～80歳未満 6. 80歳以上
・あなたのお仕事 1. 専業主婦 2. パート 3. 会社員 4. 自営業 5. その他

【質問事項】

- 問1. ファッションに関心はありますか。 1. はい 2. いいえ 3. 身だしなみ程度
問2. あなたは自分はおしゃれだと思いますか。 1. はい 2. いいえ 3. まあまあ
問3. 冬はおもにどんな服を着ますか。
1. ブラウス 2. ジャケット 3. ワンピース 4. スーツ 5. スカート 6. ロングスカート
7. スラックス 8. セーター 9. カーディガン 10. ジャンパースカート 11. キュロットスカート
12. ベスト 13. 家庭着 14. Tシャツ 15. ジャージー (上下) 16. トレーナー 17. 着物 18. その他
問4. 上記の冬服の入手方法はどれですか。
1. 既製服 2. 注文服 (オーダー) 3. 自家製服 (手作り・手編み) 4. その他
問5. 上記の質問で既製服に○印をつけた方にお尋ねします。
①気に入った既製服でしたか。
1. とても気に入った 2. まあまあ気に入った 3. 着られればよい程度 4. 気に入らなかった
②どこでお買い求めですか。
1. デパート 2. ブティック(専門店) 3. スーパー 4. 近所の小売店 5. 問屋街 6. スポーツ店 7. その他
③既製服のメーカーは決めていますか。 1. はい 2. いいえ 3. だいたい決めている
④試着はしますか。 1. する 2. しない 3. ときどき
⑤見立てていただく方は。 1. 店の人 2. 主人 3. 娘 4. 孫 5. 嫁 6. 友人 7. ひとり 8. その他
⑥冬物の既製服を選ぶときにどんな点がご不満ですか。お聞かせ下さい。

問6. 手持ちの冬服についてお尋ねします。

- ①着用するサイズは。 1. ぴったり 2. ゆったりめ 3. 小さめ
②自分の好みは。 1. 派手め 2. 地味め 3. 年相応 4. 無頓着
③自分の好きな色はどれですか。 1. 赤 2. 黄 3. 緑 4. 青 5. 紫 6. 茶 7. ピンク 8. 白 9. グレー 10. 黒
④服を選ぶときのポイントは。
1. 楽な服 2. 着脱しやすい服 3. 暖かい服 4. 温度調節のしやすい服 5. 品のよい服 6. 流行の服
7. 仕立ての良い服 8. 素材の良い服 9. シルエットのきれいな服 10. 体型をカバーする服 11. 若くみえる服
12. 高価な服 13. 安価な服 14. 好みの色の服 15. 好みのデザインの服 16. 洗濯しやすい服
17. しわになりにくい服 18. 年相応にみえる服 19. 軽い服 20. その他
⑤どんな素材が多いですか。
1. 綿 2. 毛 3. 絹 4. 合繊 5. ポリエステル 6. ストレッチ 7. ニット 8. 毛皮・皮革 9. 羽毛

問7. 暖かい室内と屋外での服装を右の項目から選んで記入して下さい。

①室内での服装

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

1. 肌着 2. Tシャツ 3. ジャージー (上下)
4. セーター 5. カーディガン 6. トレーナー
7. スカート 8. ロングスカート 9. スラックス
10. ジャケット 11. コート 12. スカーフ・マフラー
13. ベスト 14. 帽子 15. 手袋

②屋外での服装

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

問8. 今話題の保温性衣料 (遠赤外線肌着等) についてお尋ねします。

- ①保温性衣料を着用したことはありますか。 ア. ある イ. ない ウ. 着用してみたい エ. 興味ない

問9. 上記の質問であるにお答えの方にお尋ねします。

- ①着心地はどうですか。 ア. とても暖かい イ. 暖かいような気がする ウ. 普通の衣料と変わらない
②着用枚数は以前に比べてどうですか。 ア. 減った イ. 増えた ウ. 変わらない
③保温性衣料についての不満点はありますか。

問10. 冬を暖かく、しかも快適に過ごすための服装の着こなしあるいは工夫 (アイデア) をお持ちでしたら、お教え下さい。

問11. 最後にあなたは年齢より若く見えると思いますか。 1. はい 2. いいえ 3. 年相応

ご協力ありがとうございました。

高齢婦人の冬物衣料に関する一考察

高齢婦人の冬物衣料に関するアンケート [B]

1998年1月

東海女子短期大学 高間由美子

高齢化社会を迎える21世紀に向けてのアンケートです。お手数ですが是非、ご協力のほどお願い申し上げます。

① あなたのお祖母さんあるいは身近な高齢者の方にどんな冬服を着てほしいと思いますか。(デザイン画可)

② あなたのお祖母さんあるいは身近な高齢者の方から冬服についての不満を聞いたことがある人は、その内容を簡単に述べて下さい。

③ あなたのお祖母さんあるいは身近な高齢者の方で、暖かい室内と屋外での服装を右の項目から選び記入して下さい。

1. 室内での服装

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

2. 屋外での服装

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

- | | | |
|-----------|------------|---------------|
| 1. 肌着 | 2. Tシャツ | 3. ジャージ |
| 4. セーター | 5. カーディガン | 6. トレーナー |
| 7. スカート | 8. ロングスカート | 9. スラックス |
| 10. ジャケット | 11. コート | 12. スカーフ・マフラー |
| 13. 帽子 | 14. 手袋 | 15. ベスト |

④ あなたは、今話題の保温性衣料（遠赤外線肌着等）を使用していますか。

1. いる 2. いない

いる と答えた方は感想を述べて下さい。

⑤ あなたは冬を暖かく、しかも快適に過ごすための服装の着こなし方、あるいは工夫（アイデア）はありますか。